

高温時における体調管理について

例年、猛暑日の日数が増加しており、夏期プレーに伴う熱中症対策が重要となっております。プレーヤーの健康管理と安全確保を考慮し、以下の通り運用させていただきます。

対象期間：7月～9月末日（原則）

暑さ対策について

- 通常時よりも多めの水分補給（スポーツドリンク）を心がけて下さい。
- プレー中の体温上昇を抑えるため、タックアウト（シャツ裾出し）を任意とします。
- コース内売店に立ち寄り、少しでも涼んでからプレーをしてください。
- 前半プレー後の休憩時間、浴室にてシャワーをご利用いただくことが出来ます。
（スタッフが清掃をしている場合があります）
- 体調に違和感がある場合は、直ちにプレーを中断するとともに、ナビ無線にてスタッフをお呼びください。

WBGT 値 31 以上（予測値）の対応

プレーヤーとキャディの体調管理を考慮し、環境省が発出する「※暑さ指数（WBGT）」の値が 31 以上になると予測された場合は、以下の対応をさせて頂く場合がありますのでご理解のほど、よろしく願いいたします。

○プレーの制限

キャディ付きの場合、1.5 ラウンド目はセルフプレーといたします。（クラブ競技は除く）
更に高い指数が出た場合には、プレーの中断を促す場合があります。
対象期間外であっても「暑さ指数」によって制限を設けさせていただく場合があります。

※暑さ指数（WBGT）とは、熱中症を予防する目的として米国で提案された指標で、①気温②湿度③日射量から算出されます。当クラブでは関東ゴルフ連盟のガイドラインに則り数値 31 を基準としています。

東京相武カントリークラブ
支配人